
平成27年3月期 決算説明会

平成27年5月22日



極東貿易株式会社

KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

TOKYO, JAPAN



目次

□平成27年3月期決算概要

□中期経営計画「KBK 2013」の進捗状況

□平成28年3月期業績見通し

平成27年3月期 決算概要



平成27年3月期 決算概要

連結P/L

(単位:百万円)

	平成26年3月期	平成27年 3月期		前年度との 増減額
		中計計画値	実績	
売上高	47,834	46,000	49,009	1,175
売上総利益	6,048	6,000	5,557	▲491
販管費	5,171	5,300	5,035	▲136
営業利益	877	700	521	▲356
経常利益	1,113	800	851	▲261
当期純利益	1,111	550	763	▲347

- ◆ 売上高 ----- 太陽光発電関連事業好調、円安を背景に中国現地法人業績も底上げ
- ◆ 売上総利益 ----- 輸入商材において円安によるコスト上昇の影響を受け減益
- ◆ 営業利益 ----- 販管費減少も売上総利益の減少を受け減益
- ◆ 経常利益 ----- 営業利益の減少を受け減益
- ◆ 当期純利益 ----- 経常利益の減少を受け減益



平成27年3月期 決算概要（事業セグメント別）

■ 基幹産業関連部門

（単位：百万円）

連 結	平成26年3月期		平成27年3月期		前年度との増減	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
重電設備	10,866	749	12,079	729	1,214	▲19
鉄鋼関連	2,732	443	1,947	372	▲784	▲70
資源開発機器	4,456	768	2,536	423	▲1,918	▲345
検査装置	2,179	486	2,429	428	249	▲56
その他	51	15	37	23	▲14	8
合 計	20,284	2,461	19,030	1,977	▲1,253	▲483

- 重電設備 ----- 大型重電設備納入で売上増なるもこれらの利益率が低く増収減益
- 鉄鋼関連 ----- 中国向けが納入延期、国内向けに恵まれず減収減益
- 資源開発機器 ----- 業界は依然活況だが、今期は踊り場状況となり減収減益
- 検査装置 ----- アジア各国向けが好調なるもこれら製品の原価率が高かった関係で増収減益



平成27年3月期 決算概要（事業セグメント別）

■ 電子・制御システム関連部門

（単位：百万円）

連 結	平成26年3月期		平成27年3月期		前年度との増減	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
航空電子	2,731	559	3,827	695	1,096	136
電子機器	1,135	312	1,014	239	▲121	▲72
計装システム	5,726	556	6,307	464	581	▲91
合 計	9,592	1,427	11,149	1,398	1,556	▲28

- 航空電子 ----- 太陽光発電関連が好調で増収増益
- 電子機器 ----- 原発向け機器の納入延期が続き、輸入電子部品も利益率を落し減収減益
- 計装システム ----- 一部更新需要の受注に成功したが、定期点検関連部品延期で増収減益



平成27年3月期 決算概要（事業セグメント別）

■ 産業素材関連部門

（単位：百万円）

連 結	平成26年3月期		平成27年3月期		前年度との増減	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
樹脂・塗料	13,130	1,116	13,668	1,094	538	▲22
複合材料	2,087	368	2,346	414	259	45
食品関連	1,802	321	1,849	336	46	14
ばね	936	352	964	335	27	▲16
合 計	17,956	2,160	18,829	2,180	872	20

- 樹脂・塗料 ----- 米国、中国現法が円安の影響もあり好調なるも中国向け塗料が価格競争により利益率が低下し増収減益
- 複合材料 ----- 炭素繊維メーカー向け材料をはじめ好調に推移し増収増益
- 食品関連 ----- 輸入副資材のメーカー値上、円安の影響があったものの、大手ハムソーセージメーカー向け設備納入で増収増益
- ばね関連 ----- おおむね前年同期並みに推移したものの、粗利率低下で増収減益



平成27年3月期 決算概要（セグメント別総括）

（単位：百万円）

連 結	H26.3月期 通期実績		H27.3月期 計画		H27.3月期 実績	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
基幹産業関連部門	20,284	2,461	18,430	2,100	19,030	1,977
電子・制御システム関連部門	9,592	1,427	9,680	1,520	11,149	1,398
産業素材関連部門	17,956	2,160	17,890	2,380	18,829	2,180
合 計	47,834	6,048	46,000	6,000	49,009	5,557

各セグメントとも売上高は中計目標値を上回ったものの売上総利益は僅かに下回る結果となった

中期経営計画「KBK 2013」 の進捗状況



中期経営計画「KBK 2013」の進捗状況

中期経営計画の数値目標

中期経営計画 KBK 2013

(単位:百万円)

連結	H26年3月期 計画	H26年3月期 実績	H27年3月期 計画	H27年3月期 実績	H28年3月期 計画	H28年3月期 予想
売上高	44,000	47,834	46,000	49,009	48,500	65,000
営業利益	500	877	700	521	900	1,100
経常利益	600	1,113	800	851	1,000	1,300
当期純利益	400	1,111	550	763	650	2,400

- 日本経済の復調と国策的事業の資源開発機器事業好調で中計1年目目標値を達成
- 中計2年目実績値は、前年同期実績には届かず、対計画値においては営業利益が未達だったものの、当期純利益では計画を達成



中期経営計画「KBK 2013」の進捗状況

エトー株式会社の概要

エトー株式会社

所在地： 横浜市西区みなとみらい2-3-5 クイーンズタワーC21階

資本金： 6億69百万円 純資産額： 136億76百万円

業績（平成26年3月期）

売上高：156億94百万円 営業利益：8億77百万円
経常利益：10億67百万円 当期純利益：5億58百万円

業容

ねじ関連工具、機械工具、
機械部品、鉄鋼、非鉄金属、
合成樹脂製品

沿革

1914年：東日本橋に衛藤鋼鉄
店として創業
1948年：エトー株式会社に社
名変更

Network・従業員

Network：国内16箇所
海外10箇所
従業員：連結314名

取引先

TOTO、パナソニック、日立建機、
三菱重工、スタンレー電気、
ミク二等



中期経営計画「KBK 2013」の進捗状況

エトー株式会社買収の目的

事業戦略におけるベクトルの一致

- ・ エトー(株)＝技術に裏打ちされた高付加価値製品の提供
- ・ 当社 ＝エンジニアリング商社として「ものづくり商社」を目指す
- ・ 両社の長所・短所を補完しながら業績の向上を図る

シナジー効果の創出

- ・ 要素技術、製品を得意とし、基幹部品の販売に集中するエトー(株)の営業力を当グループのネットワークを駆使して拡販
- ・ 当グループネットワークで手薄な東南アジア地域をエトーグループネットワークが補完、エトー(株)ネットワークで手薄な欧米を当グループネットワークが補完

エトー株式会社の収益力

- ・ 当社の足元収益力をエトー(株)収益で補完し、財務体質の強化を図る



中期経営計画「KBK 2013」の進捗状況

エトー株式会社に対するグループ戦略

議決権比率

- ・ 現在 : 59.5%(間接保有分含む)
- ・ 6/30: 89.84%(同上)
- ・ 最終的には100%保有の完全子会社化を目指す

経営体制

- ・ 当社常務取締役齋藤壽士がエトー株式会社代表取締役へ
- ・ その他2名の役員を当社より派遣
- ・ 経営関与を高めグループ経営を強化



中期経営計画「KBK 2013」の進捗状況

メキシコ現地法人



米国現地法人との
相互補完で北米を面で捉え
事業展開

メキシコ現地法人

Kyokuto Boeki Kaisha Mexico, S.A. de C.V.

設立

- ・ 多数の国内メーカーが進出しており
特に自動車関連分野、鉄鋼関連分野
で期待



中期経営計画「KBK 2013」の進捗状況

その他の事業展開

資源開発機器事業

- ・ 日本国内および近海における新資源の探査方針は国家レベルで継続中であり今後も積極的に事業を展開予定

ロシアでの二次電池関連事業

- ・ 欧州現地法人を通じ日本メーカー製二次電池をロシア国内のトラック、トロリーバス、トロリー電車向けに展開

平成28年3月期業績見通し



平成28年3月期業績見通し

平成28年3月期 連結業績予想 (単位:百万円)				
連結	H27年3月期 実績	H28年3月期 計画	H28年3月期 2Q着地見込み	H28年3月期 通期着地見込
売上高	49,009	48,500	28,000	65,000
売上総利益	5,557	6,350	3,800	8,700
営業利益	521	900	0	1,100
経常利益	851	1,000	50	1,300
当期純利益	763	650	1,600	2,400

**通期着地見込みの経常利益13億円に対し、当期純利益が24億円と
なっているのは、エトー株式会社買収に伴う負ののれんによるもの**



平成28年3月期業績見通し

平成28年3月期事業セグメント別 業績推移

■ 基幹産業関連部門

(単位:百万円)

連結	H27年3月期 通期実績		H28年3月期 上期見通し		H28年3月期 通期見通し	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
重電設備	12,079	729	3,900	330	13,000	780
	製鉄メーカー・化学メーカーへの大型電気・計装品の納入が引き続き見込め前年同期を上回る見込み					
鉄鋼関連	1,947	372	800	120	2,200	330
	国内向け更新需要に乏しく、中国向けは価格競争の激化で増収減益の見込み					
資源開発機器	2,536	423	900	110	2,900	430
	調査機器の受注が予想されるが、本格的な探査・掘削が開始するには至らず増収増益の見込み					
検査装置	2,429	428	620	120	2,200	430
	国内向け試験装置の伸びが懸念材料なるも原価低減努力で減収なるも利益は前年同期並み					
その他	37	23	20	10	50	10
合計	19,030	1,977	6,240	690	20,350	1,980



平成28年3月期業績見通し

平成28年3月期事業セグメント別 業績推移

■ 電子・制御システム関連部門

(単位:百万円)

連 結	H27年3月期 通期実績		H28年3月期 上期見通し		H28年3月期 通期見通し	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
航空電子	3,827	695	1,900	200	3,600	610
	太陽光発電関連は、前年度をピークに下回る見込みのため減収減益の見込み					
電子機器	1,014	239	360	100	1,200	270
	電子部品の好調に加え、静電加速器大型部品納入も見込み増収増益の見込み					
計装システム	6,307	464	3,250	320	5,200	550
	ガス基地増設工事や発電所への部品供給など比較的利益率の良い案件が見込み減収なるも増益の見込み					
合 計	11,149	1,398	5,510	620	10,000	1,430



平成28年3月期業績見通し

平成28年3月期事業セグメント別 業績推移

産業素材関連部門

(単位:百万円)

連結	H27年3月期 通期実績		H28年3月期 上期見通し		H28年3月期 通期見通し	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
樹脂・塗料	13,668	1,094	8,000	670	15,600	1,300
	北米向け自動車関連商材の好調が期待でき増収増益の見込み					
複合材料	2,346	414	1,000	170	2,400	350
	炭素繊維、関連副資材が好調に推移する見込なるも設備機器納入の伸び悩みが懸念され増収減益の見込み					
食品関連	1,849	336	700	130	1,900	320
	大手ハムソーセージメーカー向け大型設備納入は見込めないが関連副資材拡販に努めほぼ前年度の見込み					
ばね関連	964	335	-	-	-	-
	平成28年3月期より機械部品関連部門へ移行					
合計	18,829	2,180	9,700	970	19,900	1,970



平成28年3月期業績見通し

平成28年3月期事業セグメント別 業績推移

■ 機械部品関連部門

(単位:百万円)

連 結	H27年3月期 通期実績		H28年3月期 上期見通し		H28年3月期 通期見通し	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
ばね関連	(964)	(335)	450	170	950	360
	定荷重ばね製品の積極的な新規顧客展開と原価低減努力で減収なるも増益見込み (平成28年3月期より産業素材関連部門から移行)					
ねじ関連	-	-	6,100	1,350	13,800	2,960
	エトー株式会社買収により当グループに参入。 ※本数値は、エトー株式会社単体12か月分+連結子会社9か月分の数値にて算出					
合 計	(964)	(335)	6,550	1,520	14,750	3,320



平成28年3月期業績見通し

平成28年3月期連結業績予想まとめ

(単位:百万円)

連 結	H27.3月期 通期実績		H28.3月期 通期計画		H28.3月期 通期予想	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
基幹産業関連部門	19,030	1,977	20,060	2,300	20,350	1,980
電子・制御システム関連部門	11,149	1,398	10,200	1,580	10,000	1,430
産業素材関連部門	18,829	2,180	18,240	2,470	19,900	1,970
機械部品関連部門	-	-	-	-	14,750	3,320
合 計	49,009	5,557	48,500	6,350	65,000	8,700



最後に

利益配分に関する基本方針

【 配当の見通し 】

平成27年3月期 【年間】 3.75円(予定) 平成28年3月期 【年間】 6円(予想)

配当性向を高めより一層の株主還元を目指してまいります



更なる増配を目指す

ご清聴ありがとうございました。



見通しに関する注意事項

この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも、当社及び当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。

これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。